

# つのちよう 議会だより

第40号

12月定例会

平成27年2月1日発行

主な紙面

8億1,300万円増額（補正予算）…………… 2P

町政を問う（5人が一般質問）…………… 6~15P

お遍路さんにお接待（ちょっといい話）… 16P



# 一般会計補正予算

12月定例会

公債費繰上  
償還金等

# 8億1,300万円を増額

## 総額72億2,400万円

12月定例会は、5日から10日までの6日間開かれ、平成26年度補正予算をはじめ承認1件、議案14件を採決の結果いずれも原案のとおり可決された。  
一般質問には5人が立ち、教育の振興・行政改革・林業の振興・介護保険・新田地区急傾斜地崩壊対策事業等について執行部をたずねた。

### 26年度補正予算

#### ▼一般会計補正予算(第5号)

額し、歳入歳出の総額を事業勘定9億4千504万7千円、直営診療施設勘定1億5千368万4千円とする。

可決(全員一致)

#### ▼介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

津野町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定

可決(全員一致)

の申請者に関する基準は、市町村の条例に委任されたため、町条例を新規制定するもの。可決(全員一致)

津野町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法改正により、指定居宅介護支援・基準該当居宅介護支援に係る基準が都道府県の条例に委任されたことから、引用条文が介護保険法から県条例になるため改正するもの。

可決(全員一致)

農業委員会委員選挙費243万4千円、国保会計繰出金284万5千円等を減額、台風12号・11号に伴う災害復旧費3億7千300万円、地域支援え合い活動基金積立金770万円、公債費の繰上償還金3億3千482万9千円等を増額。歳入歳出8億1千300万円を増額し、歳入歳出の総額を72億2千400万円とする。

可決(全員一致)

#### ▼簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

津野町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

介護保険法改正により、

津野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

改正

#### ▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

王在家簡易水道配水管移送工事等施設管理費406万2千円を増額、葉山東簡易水道の実績に伴い施設整備費84万2千円を減額。歳入歳出32万1千円を増額し歳入歳出の総額を1億7千975万

事業勘定で事業費確定に伴う償還金等1千734万7千円、直営診療施設勘定で医薬材料費等122万5千円を増

介護保険法改正により、指定介護予防支援・基準該当介護予防支援に係る基準は、市町村の条例に委任さ

介護保険法改正により、指定介護予防支援・基準該当介護予防支援に係る基準は、市町村の条例に委任さ

れたことから、引用条文が省令から市町村条例になるため改正するもの。

可決（全員一致）

▼津野町在宅介護者支援条例の一部改正

障害者自立支援法の改正に伴い「障害程度区分」が「障害支援区分」に名称変更になったことから、該当部分を改正するもの。

可決（全員一致）

▼津野町職員の給与に関する条例の一部改正

平成26年10月の高知県人事委員会の勧告に準じて改正するもの。

【改正点】

●平成26年度の職員の勤奨手当を通年で0・1月引き上げることに伴い、12月支給分で調整するため、0・1月引き上げ分を平成26年12月1日に遡久して適用する。

●平成27年以降の勤奨手当については、6月支給分で0・05月、12月支給分

0・05月引き上げ、通年で0・1月引き上げる。

可決（全員一致）

▼津野町分担金徴収条例の一部改正

飲料水供給施設整備事業（簡易給水施設整備事業を含む）の国、県の補助金を伴う事業で1千万円未満の修繕及び改修事業について、町負担の50%もしくは1戸当たり5万円のいずれか少ない額とするとして改正するもの。

可決（全員一致）

▼津野町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令改正により、出産育児一時金「39万円」を「40万4千円」とし、津野町国民健康保険条例第7条の規定を勘案して必要があると認めるときに加算することとされている額については「3万円」を「1万6千円」とするとして改正するもの。

可決（全員一致）

その他の議決

▼平成26年度津野町文化的景観ガイドンス施設（吉村虎太郎邸）整備工事請負契約の変更契約の締結

契約金額  
変更前 6千696万円  
変更後 7千519万8千円  
（有）下元住研  
請負者  
可決（全員一致）

▼平成26年度26災第392号町道程落線道路災害復旧工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 5千153万1千円  
請負者 (株)稲田建設  
可決（全員一致）

専決処分の承認

▼津野町一般会計補正予算（第4号）

衆議院議員選挙費1千200万円を増額し、歳入歳出の総額を64億1千100万円とする。承認（全員一致）

陳情の審査

▼中学生の音感教育の必修化による教育改革を求める陳情

（決定）採択  
（理由）本町においては、すでに音楽の授業を通じ様々な楽器に触れ、音感能力を高め、その取組みを2年に一度は音楽発表会を通じ、保護者や地域の方々にも鑑賞していただいている。また、この他にも地域伝統芸能の学習を通じ古典楽器などの学習にも取り組んでいることから採択とした。

▼船戸地区岡田山の早期整備を求める陳情

（決定）不採択  
（理由）執行部からの聞き取り調査により、陳情の土地については船戸町区が個人より購入していることは確認できたが、現状に至っても移転登記等が未了であること。また、陳情者が個人であり、船戸地区の総意に基づくものかの確認が取れなかったことから不採択とした。

▼自らの癌体験を癌患者が自由に語れる行政の場を求める陳情

（決定）継続審査  
（理由）自らの癌体験を自身が自由に語って頂くことに対して何ら問題はないが、議会に対しての陳情内容が明確に示されておらず、本人にその旨を通知すべく継続審査とした。

▼「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現に関する陳情

(決定) 継続審査  
(理由)

今回提出された陳情については、陳情の趣旨や意見書の内容等、具体性に乏しく、今後政府やJAGグループ等の動向を見極めつつ、なお詳しく審議する必要があるという観点から継続審査とした。

## 臨時議会

12月26日、平成26年第7回臨時議会

▼平成26年度林道災害第2号林道東津野城川線災害復旧工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札  
契約金額 1億6千475万4千円  
請負者(株)谷渚組東津野支店  
可決(全員一致)

## 町長 行政報告



池田町長

本年は、8月と10月に台風による大雨があり、合併以来最大規模の災害が発生したが幸いにも人命にかかわるような災害の発生もないうち、超高速通信網・若者定住促進住宅・吉村虎太郎邸・町道船野白河瀬線をはじめとするインフラ整備等実施してきた。

### 平成27年度の予算編成方針

本町の歳入の約半分を占める普通交付税は平成27年度より平成31年度まで段階的に削減され平成32年度に約4億円の減額となる見通しである。

今後の課題である公共施設の老朽化、少子高齢化等への対応を図るため緊張感をもった行政運営を推進しつつ「思いやりと協働のまちづくり」「自然と調和するまちづくり」「健康で笑顔あふれるまちづくり」「地域資源を活用した豊かなまちづくり」「健やかで心豊かなまちづくり」を5つの基本目標に重点的に取り組み、限られた財源を有効に活用することを基本として将来の財政運営にも十分配慮した予算を編成する。

### 津野町総合防災訓練

マグニチュード9.0震度6強の南海トラフ巨大地震を想定し、9月21日葉山運動公園総合センターグラウンドで実施。前日には常備消

防・消防団、危機管理担当による災害対策本部設置訓練を実施。町職員対象によるICTを活用した携帯電話への招集メール配信を実施、後日受信状況について確認した。今回の訓練により町内全域での訓練は一巡したが今後も訓練を積み重ね、各地区での自主防災組織の育成に取り組みながら災害に対する備えを万全にしていきたい。

### 台風11号12号の災害査定状況、今後の復旧計画

合計31件、3億8千920万1千円の申請を行い3億8千827万9千円、査定率99.76%の決定をいただいた。今後、地滑り災害としての経過観察が必要な勝登呂線や治山事業との調整が必要な林道柿木谷線など4件、約2億円程度の査定を12月以降に受ける。



12月定例会 (本庁舎議場)

天狗高原や四万十川源流点へのアクセス道路などの林道災害は、現時点では補助決定待ちの状況で内示を受け次第、指令前着手制度を活用し、できる限り早い着工を図る予定である。

### 地域づくり活動の状況

貝ノ川地区「柵田キャンドルまつり」、郷地区「長沢ウォーキング」「郷コン」、船戸地区「山里紅葉ウォーキング」、白石地区「新莊川清掃行事」と各地域とも活発な活動を行い、毎週末のイベントには町内外から多くの参加者があり、各地域にとって実りある交流事業となっている。今後も地域の活性化に繋がるよう支援していく。

### 高幡東部清掃組合し尿処理施設整備事業の経過

契約金約23億6千万円で(株)日立造船が落札。工期は解体工事を含め平成

26年4月から平成29年3月までとなっている。現在、基本設計は終了し実施設計に取りかかっており、本格的な工事は2月から始まる予定。

### 山元土場の受け入れ

本年度、林家の所得アップを目的に整備してきた船戸の山元貯木場が10月23日に完成し11月4日より木材の受け入れを開始している。今後は木材の運搬距離・時間の短縮等が図られ、林業関係者の方々の経費削減と生産効率の向上に期待している。

### 天狗荘の経営状況

大規模林道東津野城川線の災害発生後、予想された天狗荘の宿泊者数の減少は、8月から10月までの3か月間で、前年と比べ、1千231人、36.7%の減で、売店などの売り上げを合わせた全売上額は約2千600万円、約44%落ち込んでいる。夏から秋にかけての行楽シーズン

中の収入の落ち込みは、経営悪化に直結しており状況の把握と今後の対応、資金繰りについて現在役員会等で協議がなされている。

### 産業祭・健康ふくし展・文化祭

第10回産業祭と健康ふくし展を今年は文化祭を合わせ11月2日、B&G海洋センターを中心に同時開催し、町内外から約1千500人の来場者があり盛況であった。特に今年は、大型高性能林業機械プロセッサのデモンストレーションやチェーンソーアートなど林業に親しむ機会も提供した。

### 葉山運動公園総合センター 体育館の整備

5月の入札不調により町民の皆様方には大変ご不便をおかけしており、お詫びを申し上げる。  
当施設は、町内の社会体育事業や町内外のスポーツ交流事業の中核施設として、また、東地区の防災拠点や

緊急避難施設として非常に重要な役割を担っており、早急な整備が必要であることから、国や県に対し強く要望活動を行っているところである。

補助事業導入による財源確保を第一に27年度の着手に向けて取り組む。



津野消防団出初式一斉放水（新土居）

## 問 げんき倶楽部の支援は

## 答 管理業務受託に向けての支援



川上 智子

川上

青少年の健全育成や健康増進・運動人口増加・生きがいづくり・介護予防や健康づくり対策を担う「げんき倶楽部」だが、スポーツ振興くじtotoからの5年間の助成期間が終了するにあたり今後の支援について伺う。

川上教育長

来年度よりB&G海洋センターの管理業務や今まで教育委員会が行っていた社会体育施設等の管理・運営を受託できるよう段階的に支援する。

## 一般質問



B & G 植樹祭



東津野 B & G 海洋センター

## 問 段階的に指定管理に移行 どうなるの

川上

B & Gを指定管理とするならば、今後町とB & Gの関係りは。また、東地区の体育館はどうなるのか。

池田町長

B & G財団の方には指定管理の承認を得ている。今後も施設が幅広く効率的に活用できる体制づくりを行う。

今後新たに建設予定の総合センター体育館これらのスポーツ施設、社会体育施設についても段階的に指定管理で行ってほしいと考えている。

※スポーツ振興くじtoto 誰もが身近にスポーツを楽しめる環境づくりを目的として助成しています。

**問** 保護者の反応は  
**答** 批判的な意見はない

川上

11月22日の西留先生の講演会には多くの地域の方の参加があったが肝心の保護者の参加が少なく、この点も含め学力向上対策室に対する保護者の反応について伺う。

川上教育長

講演会の感想からみても多くの方が非常に良く理解できたと感じている。学力向上対策室の取り組みについては、批判的な意見は今のところ拝聴していない。



学力向上を目指して（中央小学校）

**問** ひきこもり対策の一層の充実を

**答** しっかり対応していく

川上

それぞれの家庭において非常にデリケートな問題であるが、子どもから成人まで広い年代にわたって問題となっている「ひきこもり」をどう理解し支援していくのか。

池田町長

本町において精神的な疾患によるひきこもりの方については把握しているが、情報を得られない場合もあり全体的な把握は困難である。現在は主に保健師の個別支援という形で支援している。

今後は医療・福祉・就労それぞれの専門分野の方との情報共有しながらの支援が必要と考えている。県の相談窓口とも相談しながらしっかりと対応していきたい。

## 問 行政改革の取り組みは

答 徹底的に進める



田中一孝

## 一般質問

村田副町長

住民に対する接遇については職員として大事。たとえ少数人数でも応対の悪い職員が居ると指摘されたいよう更に指導をして行きたい。

田中

合併10周年を迎える。これまでの行政改革の取り組みと今後のあり方はどうか。行政改革Ⅱ行政サービスの向上が問われるが、窓口サービスの接遇等の取り組みはどうか。

池田町長

合併して10年を迎えるが、これまで人件費の削減・小学校の統廃合・幼保一元化を実施した。また交付税・町づくり支援交付金を財源とした公債費の繰上償還基金への積立て等財政健全化に取り組んだ。今後も住民サービスを低下させないよう進めていく。



西庁舎窓口

## 問 効率的な庁舎使用は

答 組織機構のあり方を議論

田中

住民サービス向上をめざした本庁舎と西庁舎の効率的な使用や職員配置の見直し、無駄な経費を削減する取り組みはどうか。また専門職員を配置できない現状で住民福祉部門のサービスについて問う。

池田町長

今後の庁舎の使用については組織機構をどうしていくかで変わる。議論を基に活用について示す。福祉業務について専門性を問われるが、職員数に限界もある。ただ職員配置をしなければ十分なサービスを提供出来ない状況がある。スピード感をもって議論を深めていく。



## 問 スポーツ団体の現状と普及

答 二団体があり今後協議

田中

少子高齢化が進む今日、スポーツ振興は重要だ。幅広い年代が参加できるスポーツ推進に教育委員会の指導性が必要と考える。町内には日本体育協会の傘下の類似団体が二つあるが、現在の制度のあり方を見直す時期と考える。

川上教育長

スポーツ振興は地域の活性化、元気な町づくりの源と考えている。自主的・主体的な活動を促進するためにライフスタイル、年代に応じたプログラムの作成と共に参加しやすい機会と場作りが大切。

津野町体育協会・津野げんき倶楽部共に団体の活動と教育委員会事業が複雑に関係している現状がある。今後、組織を一本化する方向に両者と協議していく。



寒さにも負けず

## 問 高齢者の健康と福祉行政は

答 組織のあり方を議論

田中

高齢者のためのスポーツ・レク活動等について、現在は教育委員会・住民福祉課・社協が担当している。それぞれの部署が津野げんき倶楽部とも連携して取り組み、組めば効率的で活発な事業が出来るのではないかと。

池田町長

高齢者が健康づくりに多く参加している現状がある。それぞれの部署が議論しながら津野げんき倶楽部のあり方についても議論をして育成につなげる。また、津野町での振興のあり方・組織のあり方を議論していく。

川上教育長

現在、津野げんき倶楽部・包括支援センター・社協・里楽など多くの機関・団体が健康保持・生きがい対策事業を行っている。導入時の目的・制度など様々な問題もあるが、新たな視点での施策も必要と考えている。



一般質問



中山 昭英



葉山総合センター体育館建設予定地

**問** 計画の見直しを  
**答** 建築確認の  
範囲内なら

中山  
葉山総合センター体育館の現計画を見直し、地域経済の向上、地域の活性化、スポーツの振興に繋がる施設にするべきではないか。  
池田町長  
限られた敷地と駐車場の確保、経済性から現計画がベストと考えている。  
見直しは、建築確認の範囲内なら検討できる。

**問** 救急ボランティアへの  
支援を  
**答** 積極的に支援する

中山  
津野町救急ボランティアは、町民の生命を住民力で守るために結成された。町は物心両面の支援をしていくべきではないか。  
池田町長  
町民に大きな安心を与える組織であり自主防災組織の役割も担っている。県との協議を進めて事業導入するなど、積極的な支援をしていく。

**問** 震災対策は  
**答** 検討していく

中山  
避難所の安心・安全の確保のためのマニュアルにまだ適合していない施設はないか、また備蓄はないか。  
総務課長  
総合センターを除く15ヶ所の耐震への対応はできていないが、固定した窓ガラスは検討する。  
食料は一週間分をローリングストックする計画で行っている。

※ローリングストック  
家庭で、災害時に備えた食品の備蓄方法の一つ。普段の食事を利用する缶詰やレトルト食品などを備蓄食料とし、製造日の古いものから使い、使った分は新しく買い足して、常に一定量の備えがある状態にしておくもの。

**問 林業振興を**

**答** 支援を考えていく

中山

山元貯木場が開設しこれから木が動きだす。作業道や日照の悪い箇所  
の伐採の補助等、振興に向けた支援を。



動きだした朝見谷山元貯木場

池田町長

搬出間伐へのつぎ足し、作業道や保育間伐への補助をしているが、関係者と議論を重ねて効果的な支援を考えていく。生活に支障のある日陰の伐採は現行の事業で実施していく。



**問 林業での雇用拡大を**

**答** 環境整備をしていく

中山

林業での技術習得には長い期間を要する。やる気のある若者に一定期間の生活の保障をする等、町外からの定住促進へのシステム作りを。

池田町長

若い方が林業を生活の場とできるよう、できる限りの環境整備をしたい。育成には県が林業学校を検討しているので、注視し期待している。

**問 交通費の助成を**

**答** 考えていない

中山

企業誘致が100%近く無い現状である。若者を増やすために高知市を通勤圏と考え、交通費の助成などの施策を考えるべきではないか。

池田町長

広域での企業誘致には取り組むべきと考えている。若者が住む環境整備をし、住んでもらって町外に仕事を求めてもらうことには応援するが、交通費の支給は企業によって考えの違いがあり、行政が取り組む考えはない。

**問 農業の研究部会を**

**答** 現行の支援体制で

中山

雇用の場合は、現状では農業が一番の手近にある。農協との研究部会を立ち上げ、やる気のある若者に生活を保障できる農業を提示できるようにしては。

池田町長

担い手育成では五年後の所得目標を300万円で設定し、初期投資への補助事業の導入や、ミヨウガ・シシトウを主体とした品目の選定等をJA、高知県との体制でサポートしている。  
黒川産業建設課長  
二年間の研修制度で年間180万円、人・農地プランに登録した就農支援が五年間で年間150万円の支援が受けられ、認定農業者を目指している。

## 問 どうなる?!放課後子ども教室

答 今春、再出発を目指す



西元和代

川上教育長 本当に必要なだと思っ  
ている。近隣の空き家の交渉を  
したが課題がある。今後は  
原点に戻り集会所の改築も  
含め地域ともう少し踏み込  
んだ検討を考えている。ま  
た指導者確保等、保護者と  
の協議会を中心に進める。  
来年度当初には3小学校の  
子ども達が同じサービスを受  
けられるようにしたい。

西元

3小学校のうち特に精華  
小学校は月一回の土曜のみ  
実施である。町の現状を見  
て必要だと認識していれば  
努力目標に向かい模索して  
いくはず。どう認識し努力  
してきたか。

## 一般質問

西元

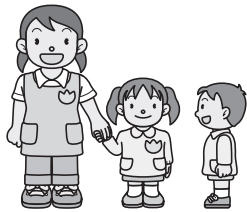
問 脱!複式学級への目玉施策は  
答 公平性を重視

複式のデメリットの解消  
になるという問題解決型学  
習は、複式である精華小学  
校のみが行っているわけで  
はない。複式で学ぶ子の保  
護者は不安と不公平感で7  
割以上が可能な校区外へ  
通わせたいと思っっている。  
例えば現在100万円の若者定  
住促進住宅取得奨励金の補  
助額を、精華校区では引き  
上げて複式解消に向けた目

池田町長

玉施策にする等、特別な考  
えはないか。

保護者の不安が大きいのは  
白石小学校での経験上、  
理解できる。しかし精華校  
区のみというのは公平性を  
欠き無理があると思う。学  
習支援員を活用し教員一人  
が二クラスを受け持つ時間  
をできる限り少なくする等  
で運営努力していきたい。



また、遊ぼうネ!

西元

集団下校でも最終的に一  
人になる子もいる。夕暮れ  
の早い冬場は集団下校を守  
り上級生を待った方が暗く  
なって危険な場合もある。  
保護者が希望すれば津野っ  
子メールと並用し、個別下  
校も許可してはどうか。  
平井学校教育課長  
確かに適さない状況も考  
えられる。今後は学校を中  
心に教育委員会を含めて検  
討し安全第一に対応してい  
く。

問 どっちが安全?  
集団下校の見直しを

答 学校を中心に  
安全第一で対応

西元

民生委員の調査や意見書でも結果が左右されるとなると民生委員の精神的負担が大きい。調査のポイントを示すべきではないか。また、本当に必要な家庭で児童が必要だけ学習の機会を得られるよう、例えば、学用品と体育実技用具は仮払い方式等にできないか。

川上教育長  
今後は民生委員との協議を深めておく。学用品については家庭の生活レベルは把握可能なため難しいが生活保護と同等であるこの制度基準は見直しを考えると必要があると思う。

**問** 就学援助制度利用は適正か

**答** 制度認定基準は見直す必要がある

**問** 介護認定を受けずに  
抽選でハワイ旅行?!

**答** 介護保険計画の委員の意見を

西元

一回の認定調査に係る費用は一人当たり5〜6万と言われる。80歳を過ぎても調査を受けずにイキイキ生活されている方を対象に抽選でハワイ旅行とまでは言わないが何か評価すれば本人や他者の意欲を引き出す。他市町村にとっても先駆的取り組みとなり全体的に介護保険料抑制に繋がると思うかどうか。

池田町長

介護保険計画の委員の意見も伺う。

**問** 認定調査員の  
スキルアップを  
**答** 研修機会を設ける

西元

認定調査員は介護支援専門員等の資格を持っていることが望ましいとされているが町の採用要件にはない。きちんとした認定ができるよう介護や医療についての独自の研修を設けるべきではないか。

池田町長

非常に重要な業務である。町内の研修機会を設け、体制を整えていきたい。



健康は長寿の秘訣（せんだん）



松尾 信壽

一般質問

問 新田地区北山の防災対策は

答 事業計画として要望している

松尾

今年は台風災害で林道等多くが崩壊している。新田地区北山の急傾地崩壊対策事業は、前回移動土木でも要望しているが、須崎土木との話は進んでいるか。

池田町長

新田地区北山については移動土木で出ていたが、県の事業計画に要望として継続している。

松尾

防災計画の町民への周知を。

高橋西庁産業建設課長

地区から既に要望が出されており、組織化後会議開催の打診をしている。



早急な対策を！（新田地区）

問 新田地区内町所有地の空地対策は

答 現在計画はない

松尾

新田地区には町所有の空地が多くあるが利用する計画はあるか。

池田町長

現在も北川の団地が残っており、それらも含めて十分な時期に判断をしたいと思っている。

**問** 新田三叉路から郷方面の歩道  
通学路拡張は

**答** この地区の部分的な改良は難しい

松尾

新田商店街三叉路から郷方面南側の通学路拡張については、その後進展はあるか、新田商店街の活性化にもつながると思うが。

池田町長

新田地区の部分的な改良は難しく、新田工区全体の設定を地元の総意が見えれば要望の形が出来ると思われる。

松尾

北川方面から通学する園児小学生の安全な通学路の確保について考えを聞く。

池田町長

全体の工区設定をしないと着手は難しい。



国道四三九号・新田商店街

**議会を傍聴してみませんか。**

定例会は年4回です    3月・12月（本庁舎議場）  
6月・9月（西庁舎議場）

大勢の傍聴をお待ちしています。

## ちよっぴい話

昨年は四国霊場開創千二百年ということで、四国八十八カ所の霊場では御本尊の御開帳や記念法要等の特別催事が行われた。

11月23日、四万十町の37番札所の岩本寺で葉山小学校の児童が子供会活動としてお接待を行った。当日は朝から保護者・津野町婦人会員等と岩本寺前で、巾着



岩本寺でのお接待

袋に「児童からの手紙・飴・お守りストラップ」等を入れて巡礼の人たちへ200個を配付した。

それから1週間後に葉山小学校に全国各地からお礼の手紙等が届いた。久寿校長らは驚き、大きな感動を受けて話題となった。

当日配付した手紙には「お遍路さん、ようこそ高知県へ、お寺を回るのは疲れると思います。風邪等ひかないように体に気をつけてお寺を回って下さい」との内容で児童達が書いていた。お遍路さんは若者から高齢者まで色々な思いを胸に秘めて巡礼されている。旅の途中に思いがけない児童らのお接待に感動された様子がその手紙から伺える。

手紙の一部を紹介すると「お遍路さんを気遣う優しい言葉、元気を貰い嬉しかった」「温かいお接待、いただいた手紙は納経帳に入れて88番大窪寺まで持ち歩きます」「車椅子の母も全盲の私も兄と共に思いがけない

幸せのパワーを充電させていただきました」「飴はもつたいたないので味わって食べます、心のこもった手紙は何回も読み返しました」  
木枯らしの季節、巡礼の途上で子供たちのお接待は人々の心を温めたことを想像できる。

今回の取組みは高知県ふるさと教育推進事業として津野町婦人会（会長・大崎章代）の呼び掛けで企画され、NPO「さわやか津野」・葉山小学校児童・教職員など多くの人々の協力で実施されたそうである。

「平成26年度ふるさと教育推進事業」について、津野町での活動は今年度限りとなるが、葉山小学校長は「多くの児童・教職員・保護者・地域の方々の協力で今回の取り組みが出来た。学校や家庭では教えることが出来ないことを児童は学んだし自分達も色々なことを教えてもらった。次年度に何かの形でお接待を続けるようにしたい」と語っていた。



お接待を行ったみなさん



# 議会のうごき

## 11月

- 1 高知県戦没者追悼式 (高知市・議長)
- 2 産業祭・健康ふくし展 (西運動公園)
- 7 四国地区町村議会議員会研修会 (高知市・議長他)
- 10 津野町戦没者追悼式 (福祉交流センター・議員)
- 11 県選出国會議員と町村議会議長との意見交換会 (東京都・議長)
- 12 町村議会議長全国大会 (東京都・議長)
- 13 高幡町村議会議長会県外研修 (山梨県・議長)
- 15 姫野々分団1部2班積載車入魂式 (本庁・議員)
- 22 梶原高等学校創立80周年記念式典 (梶原町・議長)
- 25 高幡東部清掃組合議会臨時会 (中土佐町・議員)
- 28 島根県美郷町議会行政視察 (里楽・議長)

## 12月

- 1 議会運営委員会 (本庁・委員)
- 3 高幡消防組合他定例会 (須崎市・議長)
- 4 奥四万十博推進協議会理事会 (須崎市・議長)
- 5 津野町制施行10周年に係る被表彰者選考審査会 (本庁・議長)
- 6 第6回津野町議会定例会 (本庁・議員)
- 8 津野町森林組合情報交換会 (本庁・委員)
- 9 一般質問 (本庁・議員)
- 10 議案審議、閉会 (本庁・議員)
- 16 地区長会 (西庁・議長)
- 26 第7回津野町議会臨時会 (本庁・議員)
- 4 津野消防出初式 (本庁・議員)
- 6 新年挨拶回り (県庁他・正副議長)
- 14 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 19 地区長会初会 (本庁・議長)
- 21 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 22 高幡町村議会議長会臨時総会 (四万十町・議長)



高幡議長会県外研修  
(山梨県富士河口湖町)

## 第58回

### 町村議会議長全国大会

平成26年11月12日、衆参両議長等出席のもと東京NHKホールにおいて「第58回町村議会議長全国大会」が開催され、本町から中越議長が出席した。  
本大会において「地方創生と人口減少克服に関する特別決議」等5件が採択された。

### 島根県美郷町議会が 里楽で研修

平成26年11月28日、美郷町の議会議員・執行部19名の皆さんが「特定健診受診率向上」と「健康づくり推進団体の活動」を研修の目的として里楽を訪れた。  
本町議会からは議長が、執行部からは西庁住民福祉課長等が出席し、本町の取組みについて高橋和可子保健師が説明し、活発な意見交換が行われた。



里楽での研修



NHKホール



冬空に映えるイルミネーション（新土居）

## 編集後記

ボランティア元年と言われ住民互助が見直された年、NPO法改正に繋がったあの阪神淡路大震災から20年を迎えた。考えてみると私たちは思いがけない窮地に立たされながらも、先人の知恵と経験、そして若人の新しい発想を織りなすことで幾度となく乗り越え、時代を築いてきたはずだ。

そしてこの二月、ここ津野町も合併10周年を迎えた。鷹の眼になってみると溢れんばかりの魅力があるが、つい目の前の山積みの課題に阻まれて見失いかける。たまには立ち止まって周りを見渡してみよう。そして私たちは、古き良き伝統を守りつつ新しいことへの挑戦を恐れないで、これからも一歩ずつ新しい歴史を刻んでいきたいものだ。

（文責・西元和代）

津野町議会だより  
発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	川上智子
委員	大崎公孝
委員	大崎芳章
委員	田中一孝
委員	松尾信壽

発行 高知県津野町議会  
☎(0889)55-2038  
発行責任者 議長 中越一俊  
編集 議会だより発行調査特別委員会  
印刷 笹岡印刷所

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。